

雨雲を吹き飛ばせ 健軍東小学校運動会

東区「健軍東小学校」

今回の運動会で一番の心配事は運動会当日の天気でした。子どもたちは、運動会の一週間前から週間天気予報を毎日チェックしては、「運動会、雨かな?、やっぱり雨かな?」と心配顔の毎日でした。

そうして日曜日の雨予報が変わらないうまま運動会前日の土曜日になりました。土曜日の午前中は、天気予報が当たり朝から雨が降り続きます。「明日は中止かな」と思い始めた土曜日の午後、子どもたちの想いが通じたのでしょうか、雨が上がり雨雲を飛ばし夏のような青空と太陽が戻って来ました。日曜日の運動会当日は、前日の雨が嘘のような晴天となり、運動会が開幕となりました。

小学校運動会に初めて参加の1年生。来年入学予定の子どもたちも参加してくれました。大接戦のトルネード競争

では同点決勝で勝敗を争いました。競争やダンス、応援合戦も沢山練習を重ねてきたことが伝わってきます。みんな大きな声で選手を応援しました。

運動会は学校の児童と先生だけでは成り立ちません。保護者と地域住民の方々の協力が不可欠です。準備・片付け・ゴミ拾い・駐輪・飲酒喫煙マナー等協力していただき、運動会を無事に終わることができました。児童・先生・保護者・地域住民の全員参加で盛り上げて成功した運動会は、盛況のうちにも万歳三唱で閉幕となりました。



(健軍東小学校猪原政之)

藤園の紳士・淑女

中央区「藤園中学校」

藤園中学校は1947年に設立され、平成29年に70周年を迎えた歴史と伝統のある学校です。今年の11月には70周年の記念式典、祝賀会が行われる予定です。校訓は「藤園の紳士・淑女」心身ともにたくましく(鍛豊かな情操(愛情)と磨かれた知性(探究)をもち、お互いに協力し合う(協調) 主体的で誠実、しかも端正な生徒という意味であり、その基底には、常に自分を愛する



(大切に)という人間愛の精神が貫かれています。歴史の重みを感じます。また、生徒会活動の一端で脈々と受け継がれている花畑公園清掃奉仕活動は、50



年以上続いている藤園中学校の伝統行事となつています。生徒・先生・保護者が毎月第二土曜日に行う清掃活動は、数回にわたり熊本市からも

表彰を受けました。また「挨拶日本」を掲げ、生徒会・部活動生を中心に毎朝登校時間に正門であいさつ運動を行っています。ハロープロジェクト(ハロプロ)として各学級でも活動を行っています。そして、私たち藤園中学校PTAも活動の一環として毎月生徒たちと一緒に各委員会ごとにあいさつ運動を行っています。これからも、歴史と伝統を大切にしながら、学校・地域・保護者が連携協力して、学業・部活動・ボランティア活動に励む子どもたちのサポート活動を行っていきたいと思つています。

(藤園中学校井手宏美)

「再び帰らぬ時なれば」

北区「五霊中学校」

五霊中学校は、旧植木町を通る交通の大動脈・国道3号線沿いの賑わいの近くにありながら、ほんの一本だけ入った道にあることで静かで落ち着いた環境にも恵まれた学校です。



五霊中学校が他の学校と少し変わっている点として、多くの学校が掲げる校訓にかわるものとしての「校是」があります。それが表題の言葉、「再び帰らぬ時なれば このひと時に命燃やさん」です。二度と帰らない中学校3年間に、ここで何に打ち込むか、どのような力を身につけて築立っていくのか、五霊中学校の生徒たちは、勉強、委員会活動、部活

動に全力を尽くし、挨拶・礼儀も大切にすることが当たり前という意識が脈々と受け継がれている、その核になる言葉です。



さて、そのように頑張る生徒たちを支える活動として、私たち五霊中PTAも保護者と教師が力を合わせて年間活動に取り組んでいます。歴代のPTA役員・会員の皆さんの想いを受け継ぎながら、体育大会や学習発表会の支援はもちろんですが、子どもたちが健やかに育つようにと親子環境作業や地域の花火大会の巡回指導支援にも取り組んでいます。また、校内ソフトバレーボール大会では保護者と教師の輪を更に大きくすることを狙っています。

今後、私たち五霊中PTAは「直接子どもたちのためになることに集中するPTA」を実現すべく、校内・外の各種行事を見直す取り組みを進めていこうと考えています。「全委員会が、無理なく、わが子のため、すべきことを間違えない、PTA活動」を探求していきたいと思つています。

(五霊中学校高原良明)

「ふるまの庭」

西区「古町小学校」

古町小学校は、各学年1クラス、特別支援学級1クラスという、児童数123名のとても小さな学校です。

しかし、創立144年という長い年月の中で、伝統と歴史を作り上げてきました。この歴史ある学び舎に集う子どもたちを守る存在は、地域や教職員の方々、私たち保護者だけではありません。

シンボルツリーであるエノキをはじめ様々な木々が私たちと「一緒に子どもたちを見守り続けています。緑ゆたかな校庭の木々は、最近の都市



「子どもたちの笑顔とやる気と 自信を高めるために」

南区「日吉東小学校」

わが校は、現在創立24年目、熊本市中心部に程近く、国道3号線と国道57号線に挟まれ、校区内には行政施設や商業施設があり、交通量が非常に多い地域です。地域の方は毎日、登下校時刻に合わせて見守りパトロールを行い子どもたちの安全を守ってくださっています。読み聞かせボランティアや、秋には「東つ子祭り」として、地域の方が講師となつて、体験学習が行われます。



そして、自治会や社協、青少協が「子どもは地域の宝物」を合言葉に、日吉東祭りや子どもサロンの、どんとやなど、子どもたちの笑顔のために奔走してくださっています。校舎は2階建ての回廊型で、廊下が教室の広さほどあり、熊本市内でも珍しいランクルームがあります。そして広い運動場と中庭が日吉東小の自慢です。



この25年で大きく幹を広げました。休み時間にのびのびと中庭で遊ぶ児童の様子が先生方の癒やしとなっています。

また、学校周辺には田畑があり、とても豊かな雰囲気です。授業では季節の野菜やもち米を地域の名人さんともにも作り収穫し、給食にも活用しています。時には野菜をお土産に持ち帰り、家庭の食卓に上ることもあります。それがきっかけとなり、親子のコミュニケーションにも一役買っています。

本日に恵まれた環境で学び、生活を送ることができると日々感謝しています。

そして、30周年に向けて、よりよい日吉東小を作るために、PTAとしても先生方のお手伝いをしていきたいと考えています。

(日吉東小学校西美和)

編集後記

127号いかがでしたか?今までも雲田気が変わったことに気づいていただけたでしょうか?今年度の広報委員会は、「少しでも柔らかい、親しみでもらえる紙面作り」を目標にしました。気に入っていただけたら幸いです。

広報に関わるのは初めてなので、少なからずの不安もありましたが、広報委員の皆さん始め、色々なアイデアをいただき、今年度第1号が無事完成しました。

今年度はあと2号発行いたします。委員の皆さんからの声も拾っていきたく思いますので、「こつこつしたいんじゃない?」「こつこつな記事もあつたらいいので

- 127号編集委員(順不同/敬称略)
- 及川 雅恵(黒髪小)
- 磯田 圭輔(出水南中)
- 井手 宏美(藤園中)
- 猪原 政之(健軍東小)
- 小崎 愛季(出水小)
- 佐藤 準一(本庄小)
- 佐藤 博幸(五霊中)
- 高橋 博幸(古町小)
- 寺井 伸行(出水南中)
- 西 美和(日吉東小)